

教科	工業	科目名	情報技術基礎	単位数	2
学科	インテリア	学年	1 学年	履修区分	必修
使用教科書	実教出版株式会社				
副教材など	パソコン利用技術検定試験 2級 演習問題集 (全国工業高等学校長協会)				

### 1. 科目の目的

社会における情報化の進展と意義や役割を理解させ、情報技術に関する知識や技術を習得する。  
また、情報および情報手段を活用する能力と態度の育成を目的とする。  
※ 12月の全国工業高等学校長会の検定試験(2級)を全員受検させる。

### 2. 授業の内容と進め方

パソコンを毎時間使い、教科書の理解を深め、資格取得のための実技指導を行う。  
2級パソコン利用技術の検定問題を実践させながら、理解を深める  
また、生徒の理解深める授業に心かける。(実物の提示)

### 3. 学習する上での留意点

パソコン室での授業を中心に、自分でパソコンを操作しながら基本操作を学習した。  
時間を設定して、入力操作が時間内にできるかなど検定に備えた実践的な授業を心がける。  
放課後を使っての補習および指導を行う。

### 4. 課題等について

問題集や課題等の添削指導とパソコンでの実習を行う。  
課題提出については、メモリーステックに保存させ、内容の確認と進捗状況をチェックする。  
各単元ごとに、小テストを行い理解度を確認する。

### 5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	パソコンの操作法やソフトウェアの基礎的・基本的な操作に関心を持ち、技術習得を意欲的に取り組み創造的で実践的な態度を身につけたか。
思考・判断・表現	パソコンを利用して基本的な知識や技術を活用し、思考・判断し、具体的な事象に対して深く考えとともに創意工夫する能力が身に付いたか。
技能	パソコンの基礎的・基本的な技術を実際に活用する能力と実践的な態度を身につけ、工業技術者として具現化する能力を見につけたか。
知識・理解・表現	パソコンの操作やアプリケーションソフトの利用を通して、制御技術やマルチメディア、インターネットなどの情報に関する基礎的知識と技術を身につけ、工業の意義や役割を理解し表現できるか。

### 6. 評価の方法

面については、定期考査・校内実力テストでの成績や課題の提出状況を平常点として加えて、総合的に判断します

- 1) 定期考査(授業計画にある通り1年間に5回実施される)。
- 2) 校内実力テスト
- 3) 「情報技術検定 2級」(全国工業高等学校長協会)。
- 4) 授業への取り組み(発表・学習活動への意欲・出席状況) 学習意欲、学習態度、学習に取り組む姿勢。
- 5) 授業時のノートの整理の状況。

《指導計画》 科目名 情報技術基礎

1 学年

2 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	第1章 コンピュータと情報化社会 1-1 情報化の進展と産業社会 1-2 情報化社会への対応 第2章 コンピュータの取り扱いとソフトウェア 2-1 コンピュータのハードウェア	情報化社会の歴史と社会におけるコンピュータの利用について学習する。 情報化社会における安全性とその対策, 情報倫理と健康障害について学ぶ。	行動観察
	5	2-2 ソフトウェア 2-3 コンピュータの基本操作 2-4 日本語ワードプロセッサの利用 2-5 オペレーティングシステムの基本操作 2-6 アクセサリの利用	デスクトップ型パーソナルコンピュータの基本な操作方法について学習する。	小テスト
	6	第3章 アプリケーションソフトウェアの利用 3-1 アプリケーションソフトウェアの概要 3-2 表計算ソフトウェアの利用 3-3 ワードプロセッサの利用	アプリケーションソフトウェアの概要とともに, 代表的な表計算ソフトウェアの操作方法, ワードプロセッサの応用的な取り扱いについて学習する。	中間考査 ノート検査
	7	1 けい線 2 表計算の張り付け 3 グラフの張り付け 4 写真の貼り付け		期末考査 ノート検査
	9	第4章 BASICによるプログラミング 4-1 プログラミングの概要 4-2 BASICによるプログラミングの概要 4-3 順次形処理 4-4 選択形処理 4-5 反復形処理 4-6 その他の処理	パーソナルコンピュータを利用して, BASICによるプログラミングについて学習する。	中間考査 ノート検査
	10	4-4 選択形処理 4-5 反復形処理 4-6 その他の処理		
	11	第5章 Cによるプログラミング 5-1 Cによるプログラミングの概要 5-2 順次形処理 5-3 選択形処理 5-4 反復形処理(繰り返し処理) 5-5 その他の処理	パーソナルコンピュータを利用して, プログラム言語Cによるプログラミングについて学習する。	期末考査 ノート検査
二 学 期	12	5-5 その他の処理		
	1	第6章 ハードウェア 6-1 データの表現 6-2 論理回路の基礎 6-3 処理装置と周辺装置 6-4 コンピュータ制御の概要	コンピュータ内部でのデータの表し方や基本的な論理回路の学習を基に, さらに進んだ処理装置の構成と動作や周辺装置について学習する。	中間考査 ノート検査
	2	6-4 コンピュータ制御の概要		
	3	第7章 マルチメディアとコンピュータ通信 7-1 インターネット 7-2 ホームページの作成 7-3 マルチメディアの概要 7-4 データ通信とネットワーク	インターネットとマルチメディアコンピュータそしてデータ通信の関わりについて学習する。	学年末考査 ノート検査
三 学 期	1	第6章 ハードウェア 6-1 データの表現 6-2 論理回路の基礎 6-3 処理装置と周辺装置 6-4 コンピュータ制御の概要	コンピュータ内部でのデータの表し方や基本的な論理回路の学習を基に, さらに進んだ処理装置の構成と動作や周辺装置について学習する。	中間考査 ノート検査
2	6-4 コンピュータ制御の概要			
3	第7章 マルチメディアとコンピュータ通信 7-1 インターネット 7-2 ホームページの作成 7-3 マルチメディアの概要 7-4 データ通信とネットワーク	インターネットとマルチメディアコンピュータそしてデータ通信の関わりについて学習する。	学年末考査 ノート検査	